

単元名	学びのとびら			教科書のページ	上 p.2～7
配当時数	1 時間	活動時期	4 月中旬	学習指導要領の内容	第3学年の内容

時	目標	学習活動
1	<p>・算数科の学び方，問題解決の方法やノートづくり方を共有したり，教科書の使い方を確認したりして，子どもたちが自ら教科書を有効に活用して，主体的，対話的で深い学びを実現できるようにする。</p> <p style="text-align: right;">上p.2～7</p>	<p>①「もくじ」(5分) 表紙裏～p.1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「前の学習」や「後の学習」が示されていることにふれ，算数の学習はこれまでの学習を基に積み重ねられていること，以後の学習へつながっていることに気づかせる。また，p.1 下欄を見て，前学年までに働かせ，成長してきた数学的な見方・考え方を想起させる。 ・表紙裏ページを見て，デジタルコンテンツが設定されていることやその使用方法，使用上の留意点にふれる。 <p>②「授業ページ」(30分) p.2～3</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前学年までの学習で解決できる問題について，数学的な見方・考え方を働かせた数学的活動を実際に遂行することを通して，算数科における学び方や問題解決の方法を認識させる。 <p>③「算数マイノートをつくろう」(7分) p.4～5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業ページ」におけるノートの例を参考にしながら，ノートづくり方を学級で共有する。 <p>④「“新しい算数”を使った学習の進め方」(3分) p.6～7</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書の構成や記号の意味について調べたいときには，随時本ページを見るとよいことを伝える。 ・巻末にはオプション教材集「新しい算数 プラス」が設定されていること，その中の「ほじゅうのもんだい」(補充問題)，「ふりかえりコーナー」(知識の振り返り)，「おもしろもんだいにチャレンジ」(数学の世界での発展)があることを紹介し，適宜活用するとよいことを知らせる。 <p>※「指導者・保護者のみなさまへ」について これらの記述はいずれも教科書の編集意図に加え，子どもたちが学習習慣(特に家庭での自学自習)を身につけるためには家庭での理解・協力が不可欠であると考え，掲載したものである。保護者の方々とも連携を図りながら，教科書を有効に活用していただきたい。</p>

単元名	1. 1億より大きい数を調べよう [大きい数のしくみ]		教科書の ページ	上 p.8~19, 150
配当時数	7時間	活動時期	4月中旬~下旬	学習指導要 領の内容
A(1)ア(ア), イ(ア) 内容の取扱い(1)(3)				

単元の目標		億や兆の単位について知り、十進位取り記数法や4桁区切りによる命数法(万進法)に基づき大きな数の読み方や計算の仕方を考えるとともに、整数の表し方に関わる数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	億や兆の単位を知り、十進位取り記数法についての理解を深めるとともに、10倍や1/10にした数、被乗数と乗数が3位数の整数の乗法計算をすることができる。
	思考・判断・表現	整数の仕組みや表し方に着目し、億や兆の単位を用いた整数の仕組みについて類推して考え、大きな数どうしの大きさの比べ方や表し方を統合的にとらえ説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	億や兆の仕組みや表し方について、統合的にとらえた過程や結果を振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	2. グラフや表を使って調べよう [折れ線グラフと表]			教科書の ページ	上 p.20～34
配当時数	9 時間	活動時期	4 月下旬～ 5 月上旬	学習指導要 領の内容	D(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(9) (10)

単元の目標		折れ線グラフの特徴や使い方, 分類整理の方法について理解し, それらを活用してデータを折れ線グラフに表したり読み取ったりするとともに, 数学的表現を適切に活用してデータの特徴や傾向に着目し, 問題解決のためのグラフを選択・判断することを通し, 結論について考察する力を養い, データを折れ線グラフに表し, 問題解決のため情報を読み取り, 考えた過程を振り返り, そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	折れ線グラフの特徴や使い方, データを二次元表に分類整理することを理解し, それらを活用してデータを折れ線グラフに表したり, それを読み取ったりすることができる。
	思考・判断・表現	データを目的に応じて分類整理し, それらの特徴や傾向に着目して問題解決に適切なグラフを選択して判断し, 結論について考え, 説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	問題解決の過程やデータを分類整理した結果, 折れ線グラフを活用した過程を振り返り, 多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり, 数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	おぼえているかな?			教科書の ページ	上 p.35
配当時数	—	活動時期	5 月上旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 上p.35	①「おぼえているかな?」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	3. わり算のしかたを考えよう [わり算の筆算(1)－わる数が1けた]			教科書の ページ	上 p.36～54
配当時数	11 時間	活動時期	5 月中旬～ 6 月上旬	学習指導要 領の内容	A(3)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(2)

単元の目標		2～3 位数を 1 位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、数量の関係に着目して、除法計算の仕方を考えたり計算の確かめをしたりする力を養い、既習の基本的な計算を基に考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	既習の乗法九九を 1 回用いて商を求める計算及び簡単な 2 位数を 1 位数でわる計算の方法を活用し、2～3 位数÷1 位数の計算をすることができる。
	思考・判断・表現	数の見方や構成に着目し、計算の仕方を考え、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	2～3 位数÷1 位数の除法の計算方法を、既習の基本的な計算を基に考えたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	上 p.55
配当時数	—	活動時期	6 月上旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 上p.55	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	4. 角の大きさの表し方を調べよう [角の大きさ]		教科書の ページ	上 p.56～73
配当時数	9 時間	活動時期	6 月上旬～中 旬	学習指導要 領の内容
				B(5)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		角の大きさについて単位と測定の意味について理解し、角の大きさを測定したり角をかいたりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して角の大きさや図形について考察する力を養い、角を測定した経験を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	角の大きさを回転の大きさとしてとらえることを理解し、それらを活用して角の大きさの単位(度 $^{\circ}$)や分度器を用いて角の大きさを測定したり、必要な大きさの角をつくったりすることができる。
	思考・判断・表現	図形の角の大きさに着目し、角の大きさや三角形などの図形を考察し、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	分度器を用いて角の大きさを測定するなどの数学的活動を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	5. 小数のしくみを調べよう [小数のしくみ]			教科書のページ	上 p.74～91
配当時数	13 時間	活動時期	6 月下旬～ 7 月中旬	学習指導要領の内容	A(4)ア(イ)(ウ), イ(ア)

単元の目標		小数の意味や表し方について理解し、加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して小数の仕組みや計算の仕方を考え、十進位取り記数法を基に整数や小数の仕組みを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	1/100 の位、1/1000 の位の小数の表し方や仕組みについて理解し、それらを活用して加法や減法の計算をすることができる。
	思考・判断・表現	1/10 未満の数の仕組みや数を構成する単位に着目し、小数の加法や減法の計算の仕方、数の相対的な大きさについて考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	1/10 未満の小数の表し方及び加法や減法の計算の仕方について、十進位取り記数法のよさや整数や小数の仕組みと関連づけて考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	考える力をのばそう「ちがいに注目して」			教科書のページ	上 p.92～93
配当時数	1 時間	活動時期	7 月中旬	学習指導要領の内容	A(6)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	<ul style="list-style-type: none"> 分配や移動を伴う 2 量の差に着目し、問題構造を図に表して問題を解決することを通して、問題構造を簡潔にとらえられる図のよさに気づくとともに、問題を解決する能力を高める。 <p style="text-align: right;">上 p.92～93</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①問題の構造を、分配や移動を伴う 2 量の差に着目して、線分図に表して考える。 ②上で表した図を用いて、説明する。 ③適用問題に取り組む。 	<p>【思判表】分配や移動を伴う 2 量の差に着目して、関係を単純化してとらえ、言葉や図、式を用いて考え、説明している。</p> <p>【観察・ノート】</p> <p>【態度】図を利用し、問題構造をとらえ、解決した過程を振り返り、価値づけている。【観察・ノート】</p>

単元名	そろばん			教科書のページ	上 p.94～95
配当時数	2 時間	活動時期	7 月中旬	学習指導要領の内容	A(8)ア(7), イ(7)

単元の目標		そろばんの仕組みについて理解し、加法及び減法の計算をすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して大きな数や小数の計算の仕方を考える力を養い、そろばんの仕組みを考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に生かそうとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	そろばんの仕組みを活用して億や兆の大きい数や小数の加法及び減法の計算をすることができる。
	思考・判断・表現	十進位取り記数法に着目し、そろばんを用いて計算する方法を考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	そろばんの仕組みと数の仕組みを振り返り、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	6. わり算の筆算を考えよう [わり算の筆算(2)－わる数が2けた]			教科書の ページ	上 p.96～113, 151
配当時数	14 時間	活動時期	9 月上旬～中 旬	学習指導要 領の内容	A(3)ア(ア)(イ)(ウ) (エ), イ(ア) 内容の取 扱い(2)(3)(4)

単元の目標		2～3 位数を 2 位数でわる除法計算について理解し、その計算が確実にできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算を工夫したり計算の確かめをしたりする力を養い、基本的な計算を基に考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	既習の除法の筆算の仕方や数のまとまりを用いて 2～3 位数を 2 位数でわる除法の計算をすることができる。
	思考・判断・表現	数量の関係に着目して、2～3 位数を 2 位数でわる除法の計算の仕方を考え、説明している。
	主体的に学習に 取り組む態度	2～3 位数÷2 位数の除法の計算方法を、既習の除法の計算を基に考えたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	倍の見方			教科書のページ	上 p.114～119
配当時数	4 時間	活動時期	9 月下旬	学習指導要領の内容	A(3)ア(イ) (6)ア(ウ) C(2)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べる場合に割合を用いる場合があることについて理解し、簡単な場合について割合を求めることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して二つの数量どうしの関係の比べ方を考える力を養い、割合を用いて比べた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	簡単な場合についての割合を活用して、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係を比べることができる。
	思考・判断・表現	日常の事象における数量の関係に着目し、ある二つの数量の関係と別の二つの数量の関係について割合を用いて考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	簡単な場合について、割合を用いて比べたことを振り返り、よりよいものを求めて粘り強く考えたり、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	7. およその数の使い方と表し方を調べよう[がい数の使い方と表し方]			教科書のページ	上 p.120~132, 152
配当時数	8 時間	活動時期	10 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	A(2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア) 内容の取扱い(2)

単元の目標		概数について理解し、概数を用いたり四捨五入や四則計算の結果の見積もりをしたりすることができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して目的に合った数の処理の仕方を考える力を養い、概数を用いて考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	概数の用いられる目的や四則計算の見積もりの仕方を理解し、それらを活用して目的に応じて用いることができる。
	思考・判断・表現	日常の事象における場面において、数の処理の仕方に着目し、目的に応じて数を処理するよさについて考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	日常の事象において、目的に応じて数を処理したことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.133
配当時数	—	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 上p.133	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	算数で読みとこう「食べ残しをへらそう」			教科書のページ	上 p.134～135
配当時数	1 時間	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	D(1)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を活用して棒グラフや折れ線グラフ，表を考察し，問題解決能力や情報処理能力を高める。 <p style="text-align: right;">上p.134～135</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①棒グラフと折れ線グラフの重なったグラフから問題に関して予想し，話し合う。 ②問題について必要な情報は何かを考える。 ③データより 2 つの事柄の関係について話し合う。 ④問題に対し，理由を含めて話し合う。 	<p>[思判表] 解決の根拠をグラフや表などに着目して，目的に応じて情報を選択して問題の解決法を考え，説明している。【観察・ノート】</p> <p>[態度] 対話的に問題解決に取り組むとともに，グラフや表の読み取り，問題解決の結果やプロセスを振り返り，生活に生かそうとしている。【観察・ノート】</p>

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	上 p.136
配当時数	—	活動時期	10 月中旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容の理解を確認する。 <p style="text-align: right;">上p.136</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①「おぼえているかな？」に取り組む。 	<p>[知技] 既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】</p>

単元名	かたちであそぼう「コンパスを使って」		教科書のページ	上 p.138
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要領の内容

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	<p>・コンパスを使って、いろいろな形をかいたり、円周のおよその長さを調べたりする活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。</p> <p>上p.138</p>	<p>①ノートや工作用紙に、コンパスを使って、いろいろな形をかく。</p> <p>【発展】</p> <p>①1cm の長さを開いたコンパスで円周を区切って、円周のおよその長さを調べる。</p>	<p>[思判表]円の中心の位置や半径に着目し、形をつくるには円をどのように組み合わせればよいかを考え、説明している。【観察・ノート】</p> <p>[態度]数学的活動を楽しみ、円の特徴やコンパスの仕組みを振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】</p>

単元名	8. 計算のやくそくを調べよう [計算のきまり]			教科書のページ	下 p.2～16, 142～143
配当時数	8 時間	活動時期	10 月中旬～下旬	学習指導要領の内容	A(6)ア(ア)(ウ), イ(ア) (7)ア(ア), イ(ア) 内容の取扱い(6)

単元の目標		計算の順序に関するきまりを理解し、四則に関して成り立つ性質やきまりについて理解を深められるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数量の関係を表す式について考える力を養い、問題場面の数量関係について考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	四則の混合した式や()を用いた式の計算の順序を理解し、四則に関して成り立つ性質やきまりを用いて、計算の仕方を工夫することができる。
	思考・判断・表現	四則の混合した式や()を用いた式の表し方に着目し、問題場面を簡潔に表現したり、一般的に表現したりすることについて考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	()を用いて1つの式に表すと数量の関係を簡潔に表すことができるなどのよさを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	下 p.17
配当時数	—	活動時期	10 月下旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 下p.17	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	9. 四角形の特ちょうを調べよう [垂直, 平行と四角形]		教科書の ページ	下 p.18~39, 144
配当時数	13 時間	活動時期	11 月上旬～ 下旬	学習指導要 領の内容 B(1)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(7)

単元の目標		直線の位置関係や四角形の構成について理解し、図形についての見方や感覚を豊かにするとともに、数学的表現を適切に活用して図形の構成について考える力を養い、図形の性質を考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	直線の垂直や平行の関係を理解し、それらを活用して平行四辺形やひし形、台形の特徴について理解している。
	思考・判断・表現	辺の位置関係や構成要素に着目して、様々な四角形の性質を見いだして表現したり、様々な四角形と対角線の特徴を整理して考え、説明したりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	身の回りから直線の垂直や平行の関係、様々な四角形を見いだすことで学習内容を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	10. 分数をくわしく調べよう [分数]			教科書のページ	下 p.40～52, 145
配当時数	9 時間	活動時期	12 月上旬～中旬	学習指導要領の内容	A(5)ア(ア)(イ), イ(ア)

単元の目標		分数について理解を深め、同分母分数の加法及び減法の計算ができるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して数を構成する単位分数について考える力を養い、分数とその加法及び減法の計算方法について考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の観点別評価規準	知識・技能	分数の意味や表し方、その加法及び減法の計算方法について理解し、1 より大きい分数を仮分数や帯分数で表したり、簡単な場合について同値分数があることを説明したりすることができる。
	思考・判断・表現	数を構成する単位分数に着目し、同値分数や分数の加法及び減法の計算方法を考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	1 より大きい分数を仮分数や帯分数で表すことのよさや、分数を単位分数の個数でとらえ、加法及び減法の計算方法を考えた過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書のページ	下 p.53
配当時数	—	活動時期	12 月中旬	学習指導要領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 下p.53	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技] 既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	11. どのように変わるか調べよう [変わり方調べ]			教科書の ページ	下 p.54~60, 145
配当時数	4 時間	活動時期	12 月中旬	学習指導要 領の内容	A(6)ア(ウ), イ(ア), C(1)ア(ア), イ(ア)

単元の目標		伴って変わる二つの数量について、表を用いて調べたり式に表したりできるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して二つの数量の変化の特徴について考える力を養い、二つの数量の変化について考察した過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	伴って変わる二つの数量の関係を、表を用いて変化の特徴を調べたり、□や○などを用いて式に表したりすることができる。
	思考・判断・表現	伴って変わる二つの数量の関係に着目して、表や式を用いて変化や対応の特徴について考え、説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	主体的に問題解決に取り組むとともに、二つの数量の関係を表で調べることのよさや関係を□や○などを用いた式に簡潔に表せることのよさを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	おぼえているかな？			教科書の ページ	下 p.61
配当時数	—	活動時期	12 月中旬	学習指導要 領の内容	—

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	・既習内容の理解を確認する。 下p.61	①「おぼえているかな？」に取り組む。	[知技]既習内容に関する問題を解決することができる。【観察・ノート】

単元名	12. 広さの表し方を考えよう [面積のはかり方と表し方]			教科書の ページ	下 p.62～81, 146
配当時数	11 時間	活動時期	1 月中旬～下旬	学習指導要 領の内容	A(6)ア(イ), イ(ア) B(4)ア(ア)(イ), イ(ア) 内容の取扱い(8)

単元の目標		面積に関する単位について理解し，正方形や長方形の面積を計算して求められるようにするとともに，数学的表現を適切に活用して面積の求め方や面積の単位と既習の単位との関係について考える力を養い，基準となる普遍単位の個数を基に考察した過程を振り返り，そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	面積の普遍単位について理解し，それらを活用して正方形や長方形の面積が求められることやその求め方，面積の単位間の関係を理解するとともに，面積についての量感を身につけている。
	思考・判断・表現	量や乗法の学習を基に，面積の意味や図形の構成要素に着目して，面積を数値化して表すことや辺の長さを用いて面積を求めることについて考え，説明している。
	主体的に学習に取り組む態度	面積を数値化して表すことのよさや身の回りのものの面積を求めたことを振り返り，多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり，数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	13. 小数のかけ算とわり算を考えよう [小数のかけ算とわり算]			教科書の ページ	下 p.82～103, 147
配当時数	15 時間	活動時期	2 月上旬～中 旬	学習指導要 領の内容	A(4)ア(ア)(エ), イ(ア) 内容の取扱い(5)

単元の目標		被乗数や被除数が小数の場合の乗除計算の仕方について理解し、筆算を用いて計算できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して計算の仕方や小数倍について考える力を養い、既習の計算方法や倍の学習を基に考えた過程を振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	既習の乗除計算の仕方や整数倍の学習を基に、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で積や商が小数になる場合の計算の仕方を理解し、答えを求めたり小数倍を求めたりすることができる。
	思考・判断・表現	数の構成に着目し、小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で積や商が小数になる場合の計算の仕方を考え説明したり、整数倍の学習を基に小数倍の意味について考え説明したりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	小数×整数、小数÷整数、整数÷整数で積や商が小数になる場合の計算の仕方を既習の乗除計算の仕方を基に考えたり、小数倍の意味を整数倍の意味を基に考えたりした過程を振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき、学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしたりしている。

単元名	どんな計算になるのかな？			教科書の ページ	下 p.104～105
配当時数	1 時間	活動時期	2 月中旬	学習指導要 領の内容	A(3)(4) B(4)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	<ul style="list-style-type: none"> 加減乗除法を適用して問題を解決することを通して、演算を決定する能力を伸ばす。 <p style="text-align: right;">下p.104～105</p>	①問題文を読み、それぞれどんな式を立てればよいかを考えて解決する。	<p>[思判表]問題場面に着目して、適切な式について考え、説明している。【観察・ノート】</p> <p>[態度]主体的に問題解決に取り組むとともに、既習の演算決定の場面を振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】</p>

単元名	14. 箱の形の特ちょうを調べよう [直方体と立方体]			教科書の ページ	下 p.106～119, 148
配当時数	9 時間	活動時期	2 月下旬～ 3 月上旬	学習指導要 領の内容	B(2)ア(ア)(イ)(ウ), イ(ア)(3)ア(ア),イ (ア)

単元の目標		直方体や立方体における直線や平面の関係について理解し説明できるようにするとともに、数学的表現を適切に活用して、立体図形の特徴や性質について考える力を養い、立体図形を構成する要素や位置関係に着目し考察したことを振り返り、そのよさに気づき今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。
単元の 観点別 評価規準	知識・技能	直方体や立方体の特徴や性質、直線や平面の垂直と平行の関係、平面上や空間にあるものの位置の表し方を理解し、それらを活用して展開図や見取図をかいたり、位置を表したりすることができる。
	思考・判断・表現	立体図形の構成要素や位置関係に着目して、特徴や性質を考え説明したり、直方体を基に、直線や平面の垂直と平行の関係、ものの位置の表し方を考え、説明したりしている。
	主体的に学習に 取り組む態度	立体図形について、構成要素や位置関係に着目してとらえたことを振り返り、多面的にとらえ検討してよりよいものを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに気づき学習したことを今後の生活や学習に活用しようとしていたりしている。

単元名	考える力をのばそう 「共通部分に注目して」			教科書の ページ	下 p.120～121
配当時数	1 時間	活動時期	3 月上旬	学習指導要 領の内容	A(6)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	<p>・2量の共通部分に着目し、問題構造を図に表して問題を解決することを通して、問題構造を簡潔にとらえられる図のよさに気づくとともに、問題を解決する能力を高める。</p> <p>下p.120～121</p>	<p>①小プールと大プールを泳いだ回数と、合計の距離から、それぞれのプールの長さを求める問題を、図を基に考える。</p> <p>②上で表した図を用いて、説明する。</p> <p>③適用問題に取り組む。</p>	<p>[思判表]図を使って共通部分に着目して、数量の関係を単純化してとらえ、言葉や図、式を用いて説明している。【観察・ノート】</p> <p>[態度]主体的に問題解決に取り組むとともに、図を利用して問題構造を簡潔にとらえたことを振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】</p>

単元名	算数で読みとこう 「ぼうさいについて考えよう」			教科書の ページ	下 p.122～123
配当時数	1 時間	活動時期	3 月中旬	学習指導要 領の内容	B(1) D(1)

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容を活用していくつかの棒グラフやデータを考察し、問題解決能力や情報処理能力を高める。 下p.122～123	①問題解決に必要なデータを適切に選択する。 ②時間を日に変換する。 ③問題場面に合わせて演算決定を行い、計算をする。 ④複数の直線の位置関係に着目して問題解決を図る。	【思判表】 解決の根拠を棒グラフやデータに着目して、目的に応じてデータを選択して問題解決を図り、説明している。 【観察・ノート】 【態度】 主体的に問題解決に取り組むとともに、棒グラフやデータの読み取り、問題解決の結果やプロセスを振り返り、生活に生かそうとしている。 【観察・ノート】

単元名	4 年のふくしゅう			教科書の ページ	下 p.124～128
配当時数	3 時間	活動時期	3 月中旬	学習指導要 領の内容	A～D

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
1 2 3	<ul style="list-style-type: none"> 既習内容の理解を確認する。 下p.124～128	①問題を解決する。	【知技】 既習内容について解決の仕方を理解し、問題を解決することができる。 【観察・ノート】

単元名	かたちであそぼう「デジタル数字」		教科書のページ	下 p.130
配当時数	—	活動時期	—	学習指導要領の内容

時	目標	学習活動	評価の観点と方法の例
—	<p>・ さかさまから見ても形が変わらない図形を探す活動を通して、図形に親しみ、その楽しさを味わう。</p> <p>下p.130</p>	<p>① デジタル数字で表された 0 から 9 までの数で、さかさまから見ても変わらない数を探す。</p> <p>* デジタルコンテンツ設定有</p> <p>② 上で見つけたさかさまから見ても形が変わらない数字を組み合わせるなどして、11 から 999 までの数や、時刻などについて、さかさまから見ても変わらないものを見つける。</p>	<p>[思判表] 形の特徴に着目し、さかさまから見ても数が変わらない数字を組み合わせて、別の数のつくり方を考え、説明している。【観察・ノート】</p> <p>[態度] 数学的活動を楽しみ、数字を工夫して組み合わせて、さかさまから見ても形が変わらない数を探す活動を振り返り、学習に生かそうとしている。【観察・ノート】</p>